



The Newsletter of the All Saints' Choir Alumni Society, Rikkyo University

聖歌隊OB・OG会報

第四号



立教学院諸聖徒礼拝堂聖歌隊OB・OG会
会長 植野 幸和



立教学院諸聖徒礼拝堂聖歌隊
隊長 スコット・ショウ

主の平和 立教学院諸聖徒礼拝堂OB・OG会の皆さまにおかれましては、お元気でご活躍のことと存じます。

昨年7月に、小川總一郎前会長のあとを継いでOB・OG会の会長をお引受けいたしました。諸先輩を差し置いてとは思いましたが、「働ける間に、働けるだけ、働け！」という神さまのご意思と思い、お引き受けいたしました。

思えば、小学校4年以來、大学の7年間(訳はいずれまた)の16年間、合唱と関わってまいりました。その後16年間ブランクがあって、1989年6月に目白聖公会聖歌隊の隊長をお引受けし、また、95年6月からは、かつて猿田隊長が指導された東京教区聖歌隊の一員として歌っており、合唱活動を再開してから18年になります。

聖公会(英国国教会)という教会は、プロテスタント教会の中に位置づけられる教会であるにも関わらず、ローマカトリック教会を含めたキリスト教礼拝音楽の豊かな伝統を受け継いできた教会です。一方、現代の作曲家も、新しい聖歌やチャント、アンセムを次々と作曲しており、こうした新しい楽曲も、わたしたちの礼拝の中で自由に用いることが出来ます。

聖歌隊の奉唱によって、生き生きとした豊かな礼拝が実現され、感謝、賛美の礼拝が、ますます充実していくことを願っています。

聖歌隊OB/OG会の皆様、お変わりございませんか？ 今年も総会が近づいて来ましたが、再び集い、懐かしい顔に会い、共に歌うのを楽しみにしています。

すでにご存じだと思いますが、校宅5号館がこの夏姿を消すことになりました。今回がその建物に別れを告げる最後の機会となります。

現役聖歌隊ですが、今年は新入生が多く入隊し、約40名のバランスのとれた聖歌隊として練習に励んでいます。通常の練習に加え、2名のプロの音楽家が週に1度、少人数グループのレッスンを行っています。隊員たちのこのような努力は、今後の演奏でその成果が発揮されることでしょう。

来年2月には次のイギリスツアーが計画されますが、以前の2度と違い、私の提案ではなく学生たちからの希望です。時間、エネルギー、旅費を使い、遠いイギリスへなぜ行くのかと思われる方もありますが、私の立場で考えますと、イギリスの教会で歌われる聖歌隊の音楽や礼拝を体験し、知識を得ることは日本では経験できないことです。イギリスツアーを終えた後、学生たちは今までより礼拝の中の役割を理解し、一層練習にがんばります。今後も皆様の理解と支援をどうぞよろしくお願いいたします。

2006年度現役活動報告

2月 Winter Training
23日 英国教会音楽親善研修・演奏旅行
3月 (中旬) 春の奉唱会練習開始

前期活動開始

4月 (上旬) 新入生歓迎活動
16日 イースター礼拝
22日 春の奉唱会
5月 6-7日 新歓ハイク(千葉・岩井海岸)
9日 創立記念礼拝
26日 総長就任宣誓式
6月 4日 ペンテコステ礼拝
7月 8日 Choir Festival(池袋チャペル)
14日 全国チャプレン会
15日 OB・OG総会
(下旬) Summer Training I

後期活動開始

9月 (上旬) Summer Training II
4日 大学聖歌隊交流会
5-11日 夏合宿(群馬・片品村)
(中旬) レクイエム奉唱会練習開始
21日 入隊式
24日 横浜聖アンデレ教会にて晩祷奉仕
10月 21日 レクイエム奉唱会(Rutter)
28日 逝去者記念礼拝
12月 2日 ウィリアムズ主教記念礼拝
12日 メサイア演奏会
21日 Lessons & Carols
24日 大晩祷、キャロリング、深夜ミサ
25日 クリスマス礼拝
1月 (上旬) 後期活動終了、スタッフ交代

2007年度現役活動報告と計画

3月 1-2日 Spring Training
6-12日 春合宿(千葉・岩井海岸
館山聖アンデレ教会へ礼拝奉仕)
(中旬) 春の奉唱会練習開始
23日 学位授与式

前期活動開始

4月 (上旬) 新入生歓迎活動
4-5日 入学式
8日 イースター礼拝
28日 春の奉唱会
5月 5-6日 新歓ハイク(千葉・岩井海岸)
9日 創立記念礼拝
26日 レディースクラブ50周年記念礼拝
27日 ペンテコステ礼拝
6月 3日 Choir Festival(池袋チャペル)
30日 OB・OG総会
7月 (下旬) Summer Training I

後期活動開始

9月 (上旬) Summer Training II
4-10日 夏合宿(群馬・片品村)
(中旬) レクイエム奉唱会練習開始
(下旬) 入隊式
10月 20日 レクイエム奉唱会(Campra)
27日 逝去者記念礼拝
12月 1日 ウィリアムズ主教記念礼拝
12日 メサイア演奏会
22日 Lessons&Carols
24日 大晩祷、キャロリング、深夜ミサ
25日 クリスマス礼拝



2007年現役活動報告

今年1月、スタッフは代替わりをし、現3年生を軸にした2007年度の聖歌隊は活動をスタートさせた。3月、春合宿では、ショウ先生のご指導にプラスして、ボイストレーナーの先生方に千葉まで足を運んでいただくことができた。初めての試みであり、限られた時間ではあったが、基礎的な発声・母音などを丁寧に教わることができ、音楽面の向上に繋がった。また、今年度より聖歌隊顧問となった香山チャプレンも参加してくださり、充実した合宿だった。

春の奉唱会では、現役は一部で合宿中練習に励んだ曲を披露した。男声・女声曲各々に苦心した成果が発揮できたことと思う。二部を含め、一曲一曲への丁寧な取り組みが実を結び、無事幕を閉じることができた。

6月のChoir Festivalでは、麻疹騒動で立教女学院の欠席、練習場所の確保が必要になる、などの多少のハプニングはあったが、予定通り英国より王立教会音楽学校校長John Harper先生を迎えご教授いただき、教区聖歌隊と共に礼拝を行った。来年度英国遠征を予定している私たちにとって、意義深いものであった。

4月の新歓期間を終え、今年も聖歌隊に新たなメンバーを迎えることができた。今年は約15名の新メンバーが加わり、聖歌隊全体の男女比がバランスよく強化された。木曜・日曜と日々礼拝奉仕につとめつつも、あとひと月ほどで前期の活動を終えようとしている。このあとには夏合宿、入隊式、レクイエム奉唱会、メサイア演奏会、クリスマス礼拝など聖歌隊にとって大きなイベントが待ち構えている。新しいメンバーが加わり活気に溢れたこのグループで、(新歓ハイクで新入生の若さを感じた上級生は多い)今後の活動にますます精力的に取り組んでいきたい。

(文書:谷口 美由希)

英国遠征にかけるもの

2008年英国遠征実行委員会

私たちは現在、英国における英国教会音楽文化への理解を深め、また日英の親善を深めることを目的として、2008年春に英国への遠征を計画しています。

しかし、単に「英国へ行く」とはいうものの、ではなぜ英国か、またなぜ以前は三年に一度の頻度だった海外遠征を隔年としたのかという疑問が生じます。一見すると敢えてそうする理由が無いのではないかと考えられる方も多いと思います。しかしこれらのことは、私たちの活動の質を高めることと密接なつながりがあるのです。

私たちは、委員会を発足させる以前からなぜ英国なのかと幾度と無く話し合い、その結果様々な理由が挙げられました。

英国とは、聖公会成立時からの大聖堂や礼拝方式、聖歌隊などの伝統が今もなお残されている国です。もちろん、ただそれらを知るためならば何も実際に現地へ行く必要は無く、メディアと通して見聞きするだけで十分でしょう。しかし、現地に行かなければ絶対的に得ることが出来ない、視覚的、聴覚的のみならず五感の全てを以ってして聖公会及び聖歌隊というものの「本場」を感じることこそが我々に足りない所であり、必要なことなのです。つまり、日本での日々の礼拝奉仕への質の向上、聖歌隊員としての意識の向上に欠かせないものが、英国にあるといえるでしょう。

現地では、実際に礼拝に出席したり、伝統ある教会の見学や聖歌隊との交流、プロの講師によるレクチャーを受けたりする予定です。我々が日々歌っている曲やその作曲者に深く関係する地を訪れることで、聖歌隊活動の背景に関する理解を深め、また現地聖歌隊との交流は音楽を通じての日英の文化交流を深めることとなるでしょう。世界的にレベルが高いとされる聖歌隊に感激し、それを直接的に模倣するばかりでなく、自分たちに不足している要素をしっかりと認識した上でそれを

補っていきます。そして、現地で気付いた良いところの吸収に努めたいと思います。

また、英国遠征を隔年とした理由は、上記の内容に加え、「三年に一度の実施では、どうしても英国遠征に参加することのできない学年が存在してしまう」からです。本場の素晴らしい世界を目の当たりにすることで、高められた意識をもつ実際に現地へ赴いた隊員とそうでない隊員の混在は、微量ながらもその意識や価値観に相違を生み、合唱団としての聖歌隊に不調和をもたらしてしまうでしょう。私たちは、歌声のみならず、隊員一人ひとりの気持ちまでもがハーモニーを奏でていることこそが聖歌隊だと考えます。

以上の事柄を踏まえ、私たちは英国遠征の準備を進めています。素晴らしい経験を自らの糧とすべく、この遠征を成功させたいと思います。そして英国から帰ってきたときに、英国遠征の成果を発揮し、より良い奉仕によって少しでも多くの人々に還元することができれば、と考えています。

2008年英国遠征実行委員会委員長
近藤 孝幸

聖歌隊OB・OG会「情報化検討中」のお知らせ

OB・OG会では、OB・OG同士の情報交換、並びに現役とOB・OGとの交流を活性化するため、また連絡通信費用を削減するために、ウェブサイト(ホームページ)を制作し、連絡手段としてE-mail(電子メール)を活用することを検討しております。どちらも運用の開始時期は本年秋季を予定しております。

1. E-mail使用の開始・拡大の目的

- ・OB-OG会と会員間の、相互の連絡を容易にする(特に奉唱会の連絡等)
- ・郵送料金の削減 2006年度、OB-OG会収入の32.8%を「文具通信費」として支出)
- ・マンパワーの削減(郵送はOB-OG会役員が集合して送っている / 住所等情報処理の簡易化)

E-mail運用開始後、郵送を止めるのではなく、利用を望む方のみ移行していく方針です。

2. ウェブサイト開設の目的

- ・情報を溜められる場所
- ・最新情報を随時掲載
- ・連絡先の確保
- ・OB-OGが情報を発信できる場

聖歌隊について知りたい時に
帰ってこられる場所を設ける

3. ウェブサイトのURL(アドレス)は?

OB-OG会サイトは立教大学の学外に設置いたしますが、まだURLを決めておりません。

9月30日以降に現役聖歌隊のサイトにリンクを貼付いたしますので、以下の方法で訪れてください。

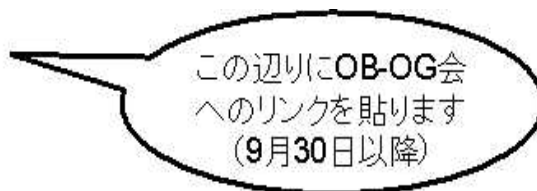


(1) Google、Yahoo!等の検索エンジンで、「立教」聖歌隊」と検索してください(左上)

(2) 現役聖歌隊のサイトが現れます



(3) 判り易い所にOB・OG会サイトがありますのでクリックしてください(左下)
または直接アクセスしてください。
<http://www.rikkyo.ne.jp/sgrp/yechoirs/>



本件全般に関する御希望やアイデア等を、お待ち申し上げます。

連絡先: info@rikkyo-choir-alumni.com

OB・OG会会計報告(2006年度)

役員会会計担当

〔収入の部〕

(1) 2006年度の年会費、賛助金は、2007年3月31日までに

年会費	146名	146,000円
賛助金	77名	463,400円
合計		609,400円

のご協力、お振込みをいただきました。年会費で7名、賛助金で11名、ご協力者が増加いたしました。まことに有難うございました。

(2) 年会費と賛助金のご協力者のご芳名は、別掲のとおりです。

〔支出の部〕

(1) 文具通信費の内訳は、総会・懇親会ご案内の郵送費62,030円、会報の郵送費55,900円、レクイエムご案内の郵送費35,720円、春奉唱会ご案内の郵送費33,750円、文具費が27,300円でした。

(2) 印刷費の内訳は、総会・懇親会ご案内44,265円、会報印刷費55,620円、振込用紙印刷費1,200円でした。

(3) 総会・懇親会に現役を招待しましたが、当日の総会・懇親会会費だけでは足りず、40,000円の補助をいたしました。また、当日のチャペルへの献金とオーガニストへの謝礼として各々10,000円支出いたしました。

OB・OGの方々の一人でも多くの参加があれば、総会・懇親会補助を少なくできます。

(4) プランスタッド元隊長の小平墓地管理費として、年額1,000円を支出しております。

〔会費納入と賛助金ご協力のお願い〕

(1) 2007年度は、秋のレクイエム奉唱会にアンドレ・カンプラ作品の奉唱を予定しています。エキストラ謝礼など、昨年度と同程度の援助が必要となります。

(2) 総会・懇親会のご案内、春と秋の奉唱会のご案内、会報の発行などを含めると、文具通信費に年額概算30万円程度必要となります。

(3) 別掲のとおり、2008年春休みに、現役の英国

研修が予定されています。伴奏オーガニストの旅費などの補助を行いたいと思います。

(4) できるだけ多くの会員の方々に、会の運営費として年会費1,000円の納入をお願いするとともに、現役への援助金として賛助金(1口:5,000円)のご協力をたまわりたいと存じます。

(2007年3月31日現在)

〔収入の部〕	
前年度の繰越金	173,920円
年会費	146,000円
賛助金	463,400円
合計	783,320円
〔支出の部〕	
奉唱会の援助金	60,000円
文具通信費	214,700円
印刷費	101,085円
総会懇親会援助	40,000円
献金・謝礼	20,000円
墓地管理費	1,000円
仮払金	50,000円
次年度への繰越	296,535円
合計	783,320円

賛助金協力者ご芳名(2006年度)

(敬称略)

〔名誉会員〕

スコット・ショウ 水谷博彦 (2名)

〔1949-50年代〕

佐々木弘道 工藤俊雄 鴻照夫 小川總一郎
下田昇 古谷俊次 細田榮一 廣田淳一 江並
正大山省三 糟谷祐子 佐藤悦子 鈴木侑子
寺本睦夫 辺見孝昌 松野裕子 石川範子
今井和道 関武矩 内藤博子 樋口洋子
青木瑞恵 小川春乃 坂本敬 杉野一郎
(25名)

〔1960年代〕

小野翠 成田弘子 大澤祐二 鍋木哲三
福代亮三 橋本圭子 長谷川淳子 山田弘美
糟谷愛 糟谷證 栗岩和彦 高橋委作

高橋芙木 滝口俊子 谷市三 小池澄子
高橋宏子 宮谷祥子 宮谷仁太郎 西 章
大塚万紀子
菊地滋子 伊藤三千子 内田研吾 田中桂子
(25名)

〔1970年代〕

相沢牧人 青山尚徳(2回) 青山博子(2回)
植野さなえ 植野幸和 荒牧節子 伊藤正人
伊藤弥寿世 高木慎二 徳住光則 桐迫馨代
阿部智子 長田睦子 須藤茂 鈴木雅美
(17名)

〔1980年代〕

齊藤敦子 田沼勢津子 玉野克子 志田裕美
川原泰明
(5名)

〔1990-2000年代〕

汲原宏枝 斎藤聡 小暮詩帆
(3名)

合計 77名 463,400円

年会費納入者ご芳名(2006年度)

(敬称略)

〔1949-50年代〕

佐々木弘道 工藤俊雄 鴻輝夫 小川總一郎
下田昇 安永和夫 古谷俟次 足立一雄
細田榮一 廣田淳一 小笠原汎 江並正
大山省三 糟谷祐子 金子純 佐藤悦子
鈴木侑子 寺本睦夫 辺見孝昌 松野裕子
諫山美保子 石川範子 今井和道 今井佐禰子
関武矩 関本実 内藤博子 樋口洋子
青木瑞恵(2回) 小川春乃 坂本敬 佐藤満寿哉
杉野一郎
(34名)

〔1960年代〕

小野翠 中川直美 成田弘子 矢部勲弘
大澤祐二 鎚木哲三 壇上仁江 鳥井祥子
福代亮三 橋本圭子 長谷川淳子 山田弘美
芦澤順 糟谷愛 糟谷證 栗岩和彦 高木邦子
高橋委作 高橋芙木 滝口俊子 谷市三
西宇明男 小池澄子 斎藤潤子 高橋宏子
宮谷祥子 宮谷仁太郎 西 章 大塚万紀子
岩川武彦(2回) 菊地滋子 鶴岡道子

伊藤三千子 内田研吾 田中桂子
(36名)

〔1970年代〕

相沢牧人 青山尚徳(2回) 青山博子(2回)
植野さなえ 植野幸和 大西信一 大西礼子
根岸恵子 荒牧節子 徳武希美枝 増井真理子
吉田久美 五十嵐衛 加藤博道 河野純子
近藤みち子 須藤恵子 伊藤正人 伊藤弥寿世
高木慎二 徳住光則 伊藤勉 梶ヶ谷淑子
桐迫馨代 志村純一 阿部智子 長田睦子
須藤茂 佐々義子 田澤利之 鈴木雅美
安田裕子
(34名)

〔1980年代〕

齊藤敦子 高島なお子 田沼勢津子 玉野克子
北政扶美子 志田裕美 那須待子 那須輝彦
細谷厚子 渡辺順子 川原泰明 内田幸子
湯田勝彦
(13名)

〔1990年代〕

三井美樹 汲原宏枝 飯島陽子 大野菜穂子
大野恭義 高橋由佳 横田麻子 武藤早苗
上原真紀子 遠山朋美 長塚望 山本純子
古谷秀子 矢内祐介 斎藤聡 細川澄子
(16名)

〔2000年代〕

千野恵 小暮詩帆 飯塚幹子 渡辺絵美
遠藤陽平 岡田俊介 小宮山洋之 矢島優里
永野有紀子 元田紗代子 矢作理恵 渡邊麻美
(12名)

〔年代氏名不詳〕

(1名)

合計 146名 146,000円

OB・OGからのメッセージ

2007年度

総会および懇親会の出欠葉書に寄せられたメッセージをご紹介します。

〔名誉会員〕

猿田 潤子 隊長夫人

聖歌隊OB・OG会総会・懇親会のご案内ありがとうございました。都合つかず、欠席させていただきました。残念ですが、申し訳ありません。ご盛会を祈っております。約30年間生活した校宅5号館が、いよいよ姿を消すとのこと、さびしい限りです。

矢澤 信夫 チャプレン

年齢88才になりました。持病の腰痛激しく、通院治療中、難聴、高血圧も相変わらず、認知症初期？ 遠路単独外出不可能です。総会・懇親会のご盛会を祈ります。

西村 哲郎 チャプレン

ご案内くださり恐縮です。定年退職後、聖路加国際病院と看護大でお手伝いをしておりますが、大分加齢が進み、不自由を感じています。ご盛会を祈ります。

大郷 博 チャプレン

いつもご案内ありがとうございます。残念ながら当日は、子供の結婚式のため、出席できません。盛会を祈ります。増々のご活躍を！！

村岡 明 チャプレン

4月から前任地(軽井沢シヨウ記念礼拝堂)を離れ、現住所(富山)に移りました。皆様の一層のご健康とご活躍を祈っています。

村上 達夫 チャプレン

お招き感謝いたします。チャプレン在職時代、聖歌隊と関わらせて頂きま

したことを懐かしく思い出しております。老化が進んで、どちら様へも失礼いたしております。ご盛会をお祈りしております。

広田 勝一 チャプレン

6月30日は、所用のため出席できず、残念であります。皆様方のこれからのご活躍を、お祈り申し上げます。

柳 時京 チャプレン

2007年4月から、2001年から6年間担当させていただいたChoirの顧問役を退くことになりました。今までの交わりに、深く感謝しております。今後も名誉会員として、Choirの活動を支えていきたいと思っております。OB・OG会のますますのご発展を、心からお祈りいたします。

香山 洋人 チャプレン

2007年度より聖歌隊のチャプレンになりました。どうぞよろしく願い申し上げます。

高橋 秀 カウンセラー

ご案内ありがとうございました。おかげさまで、まだ元気ですが、昨年来、外出はなるべく自粛しようとしておりますので、失礼いたします。

〔一般会員〕

佐々木 弘道 (1949経済)

妻が病中にて、二人家庭につき、外出外泊が難しいため、欠席します。

梶原 達観 (T 1950文社)

昭和20年 帝国海軍消滅 同年 海軍生徒から立教理科専(現立大理学部)編入学。昭和25年3月 文学部社会学科卒業。最高裁判所、外務省等を経て大学教授。現在公益法人理事、83才。いつも通信頂いて感謝しております。

安永 和夫 (B 1952文英)

ご連絡有難う。体調思わしくなく、出席できません。皆様によろしく。
ご発展、ご盛会を祈ります。

平野 修 (T 1953理化)

主日は清瀬聖母教会(宮崎司祭)に通っております。時々、立教チャペルにも伺いたいと考えております。

廣田 淳一 (1955経済)

先月、大学のKB基金にて5号館取り壊しに関して委員会開催は必要かと連絡がありましたが、既に決定のことならば、特に必要はないと返事をしましたが、ショウ先生が、今回、開放して下さるとのこと、高校時代からの5号館に最後のお別れをさせていただきます。いろいろとお世話くだされ、感謝しております。当日楽しみにしています。

佐藤 悦子 (S 1957文英)

先週アメリカから一時帰国しました。8月一杯は滞日します。
皆様にお会いするのを楽しみにしています。

寺本 睦夫 (B 1957文基)

自由時間がたっぷり……の身分となりました。
去る5月13日、帯広市文化ホールの「第九」に5回目の参加をしました。テノールのソリストは、近年、立教のメサイヤでソロ奉仕している小貫岩夫くん(親戚の一人です)でした。
懇親会に出席できず残念ですが、立教聖歌隊のご活躍をお祈りいたします。

松野 裕子(遠藤) (A 1957文英)

5号館は、私にはもとより、夫、松野明(オーケストラ)にとりましても、プランスタッド先生と数多くの室内楽をご一緒に演奏した思い出深いところです。取り壊された後も、私達夫婦の心には、永遠に生き続けます。

この4年間、秋のレクイエム奉唱会を聴かせて頂きました。全てが深く心に残る奉唱会でした。今年も聴きに行けるように、健康管理をしたいものです。

諫山 美保子(坂本) (S 1958文社)

何かとお世話様、ご苦労様です。
懐かしの5号館も、遂にサヨナラとか、淋しい限りです。一杯、思い出を作ってくれました。
バタバタと忙しく動き回っておりますが、6月30日、何とかかなりそうで、是非、伺いたいと思います。

今井 和道 (O 1958文英)

ここ数年「立教大学」は、その原点が忘れられたかのような「PR」が多かったのですが、5月19日の新聞で原点が表明され、大変嬉しく思いました。
チャペルの活動は、さらにその原点です。
OB・OG会が繁栄しますように！

関本 実 (T 1958経済)

残念ながら、出張予定があり、失礼します。

内藤 博子(緑川) (S 1958文英)

ちょうど旅行中のため、残念ながら欠席させていただきます。

樋口 洋子(佐藤) (1958文社)

いつも、お世話様です。

佐藤 健二郎 (1959経済)

二年で中途退隊した者としては、出席に可也の勇気がいるものです。
父と兄がお世話になったことを考え、5号館に出席させてもらいます。
なつかしい顔に少しはお目にかかれればと思い、小生ごときにご案内をいただき、本当に有難うございます。

杉野 一郎 (T 1959経済)

今更、健康第一ではございませんが、誠に申し訳ございませんが、もう少しお時間を頂きたいと思っております。
今でも週1回りハビリに行っています。
皆様によろしくお伝えください。

成田 弘子(平野) (S 1960文心)

主の平和
7月にイタリアの聖歌隊と合同コンサートを予定

(サレジオ教会で)しており、毎土曜日は練習があります。残念ですが、出席し兼ねます。皆様のご活躍とご健康を祈ります。

福代 亮三 (B 1961 経済)

奉唱会の常連であった辺見先輩の訃報に接し、出来ることは出来るうちにやっておくことを痛感、久し振りに今年の春の奉唱会に参加しました。今後も、出来る限り、参加したいと思っております。

糟谷 愛(植松) (A 1963 文心)

糟谷 證 (B 1963 理物)

残念ですが、所用がありまして欠席します。盛会を祈っています。

高木 邦子(和気) (S 1963 社社)

当日は先約のため、残念ながら、欠席とさせていただきます。

懐かしい皆様のお顔を思い浮かべつつ、ご盛会をお祈りしております。

高橋 委作 (1963 文心)

高橋 芙木(稲垣) (1963 文史)

お知らせありがとうございます。残念ですが、欠席いたします。

ご盛会を心からお祈り申し上げます。どうぞ、お身体、お大切になさってくださいませ。

谷 市三 (1963 経営)

遠方(富山)で教会の仕事をしているので、土、日は、出て行くことが出来ません。

皆様のご健勝を祈ります。

宮谷 仁太郎 (T 1964 社社)

宮谷 祥子(藤井) (S 1964 文英)

思い出深い5号館に心からの感謝！！

小笹 絢(南部) (S 1965 文英)

永年、東京スコラ・カントールムで歌っていますが、2年前、新鋭青木洋也さんを指導者に迎え、毎週緻密な教えを受けています。

先日は、彼の友人でもある那須先生をお招きして、英国の教会音楽史を講義していただきました。

その熱の入れように圧倒され、彼が立教クワイヤーの後輩であることに誇りを感じました。教会音楽はマイナーですが、少しでも好きになってくれる人が増えてほしいです。

大塚 万紀子(黒部) (A 1966 文英)

主人と母が病気のため出席できません。

盛会をお祈り申し上げます。

菊地 滋子(松本) (A 1967 文史)

沢山思い出の詰まっている5号館(校宅)ですが、聖歌隊の活動は、関係者のご努力で、しっかりと継続されており、慶ばしい限りです。

私は徒に加齢を重ね、力不足でお手伝いは出来ぬまま、時折の奉唱会や礼拝に参加して、皆様のご活動を“耳”にしております。

今後の皆様のご活躍を、心よりお祈りしております。

伊藤 三千子(黒田) (A 1969 文英)

ご無沙汰しています。お元気でいらっしゃいますか。

何年も声を出していないので不安ですが、皆様にご迷惑のかからないようにいたしますので、どうぞよろしく願います。

青山 尚徳 (T 1970 理物)

青山 博子(平林) (A 1970 文英)

いつもご連絡ありがとうございます。

青山は、ゴルフの予定が入っており、ヒラリンは、午前中、教会の子供達の会(コスモス会)、午後は、教会報「野のゆり」のカット入れと印刷日に当たりますので都合が付かず、欠席させていただきます。5号館がなくなるなんて、淋しいですね。

荒牧 節子 (S 1971 文英)

相変わらずです。

大西 信一 (T 1971 経済)

大西 礼子(小笠原) (S 1970 文史)

(信一)6月12日に外出先から帰宅途中、階段の駆けのぼりで肉離れ(右足)を起こし、現在ギブスを装着し松葉杖歩行中です。1ヵ月はこの状態で、との医師の診断です。ということで、残念ながら

欠席します。皆さんによろしくお伝えください。
(礼子)仕事のため、欠席いたします。盛会をお祈りしています。

須藤 恵子(後藤) (A 1973 社社)

今年は出席したいと思っております。

5号館に行くのも、これが最後になるかも知れませんが、是非、伺いたいと思います。

今までよく残っていたと思う位ですが、思い出が一杯の5号館ですので淋しい気もします。

色々とお世話様です。当日は宜しくお願い致します。

伊藤 正人 (B 1974 文仏)

伊藤 弥寿世(若林) (S 1976 文仏)

いつもお世話様になりまして、有難うございます。相変わらず何のお手伝いもできませぬ申し訳ありません。

ご盛会をお祈りいたしております。

榎本 ひろ美(中山) (S 1975 文英)

おかげさまで元気です。

梶ヶ谷 淑子(山本) (S 1975 文英)

都合により、さよなら5号館のみ出席とさせていただきます。

どうぞよろしくお祈りいたします。

桐迫 馨代(長田) (S 1975 文史)

お久しぶりにお会いできる機会が与えられましたことをうれしく思います。

掛川 祐司 (T 1976 法法)

ご無沙汰しております。仕事で参加できませんが、ご盛会をお祈り申し上げます。

阿部 智子(三保谷) (A 1977 文史)

いよいよ「5号館とさよなら」ですね。

思い出のつまった建物、街並みが変わりゆくのは寂しいものです。ただ、構内至る所に、その場が残っている母校を誇りに思います。

長田 睦子(川中) (S 1977 法法)

総会・懇親会の日程が会社の研修と重なりました

ので、残念ながら欠席です。

目白の聖歌隊、東京教区の聖歌隊、立教の奉唱会をはじめ、いくつかの合唱に関わっています。現役時代より歌っているかも知れませんが、いろいろな曲、様々な人に出会えて楽しいですよ。

湯浅 宣子(大林) (S 1977 社産)

ルネサンス・バロックダンスの公演と講習を名古屋、関西各地で行っています。毎年、英国で研修、公演出演、デモンストレーションや講習などを行っています。

今年は5月英国で公演の後、8月は留学の長女と渡英の予定。長男、次女も大学、高校生になり、主人は東京在住9年。今年は岡山で7月、10月、12月にバロックダンスとリコーダー、チェンバロ、リュート、ガンバ、歌による色々な公演を企画しました。良い共演者との公演が楽しみです。

佐々 義子(斎藤) (A 1978 理物)

第1日曜日に目白聖公会のクワイヤーに加えて頂き、心身ともに元気を頂いております。

中尾 志朗 (B 1978 文基)

O・B・OG会には、仕事の関係から出席できませんが、盛会となりますよう祈ります。

また、皆様のご活躍を祈念いたします。

鈴木 雅美(西成) (A 1979 文日)

校宅がなくなるということなので、是非、最後に行っておきたいと思いました。

みなさまにお会いできるのを楽しみにしております。

田澤 利之 (B 1979 法法)

ご案内ありがとうございました。

校宅5号館が取り壊されるとのこと、まことに寂しい限りです。若き日の思い出が一杯詰まった所で、今も様々な折の映像が脳裏に焼きついてます。

当日は、主日礼拝の準備等しなければなりませんので、やむなく欠席させていただきます。

ご盛会をお祈りします。

安田 裕子(南村) (S 1979文英)
いつもお世話になります。あいにく30日は欠席いたします。皆様によろしくお伝えください。

齊藤 敦子(内田) (A 1980文独)
いつも、とりまとめ、ありがとうございます。最近、トラヴェルソを始めました。古い音色にすっかり夢中です。
今年こそ、皆さんにお会いできますように！！

高島 なお子(安達) (S 1980文日)
元気にやっております。

松淵 真理子(羽田) (A 1980文基)
お知らせ、ありがとうございます。当日は、母の用事の付き添いをするようになっておりますので、大変残念ですが、欠席いたします。
近くに住んでいながら、大学は遠くなり、訪れる度が変わっていく様子に、時の流れを感じます。ご盛会をお祈りします。

小島 真理子(坂内) (A 1981社社)
学生時代の様々な思い出がつまった5号館が、なくなってしまうかと思うと、時代の流れを感じてしまいます。
出席されます皆様にとりまして、心あたたまると楽しいひと時となります様に。

広瀬 幹郎 (T 1981社産)
いつもご連絡ありがとうございます。卒業して26年かな、入学した年から30年たちました。
校宅5号館は思い出いっぱいです。

松田 正典 (T 1983法法)
盛岡市内の教会(教団)に所属しており、ときおり、讃美歌指導を試行錯誤しながらやっております。

渡辺 順子 (A 1983文英)
卒業以来、初めて出席した昨年の立教聖歌隊O・B・OG会は、思いのほか楽しく、今年も出席させていただきます。

佐藤 恵理子(本多) (A 1984文基)
5号館取り壊しとのことで、青春とお別れという

気持ちで伺いたく思います。
校宅内で、現役生による猿田長春氏のミサ(いわゆる猿ミサ)を歌う奉唱をやっていただけると大変うれしいのですが.....。

菅原 裕治 (T 1984文基)
立教池袋中学校・高等学校でチャプレンをしています。
当日は、仕事のため失礼いたします。

末廣 禎一郎 (B 1985文仏)
末廣 里夏(高橋) (A 1985文英)
遠方(西宮)につき、今年も出席を辞退させていただきます。

角田 朝子(根本) (A 1985文史)
ちょうどヨーロッパ旅行中のため、出席することができません。
ご盛会をお祈りしております。

相浦 猛 (B 1986文史)
相浦 智(芦立) (A 1986文基)
懐かしい校宅5号館に、是非、お別れを言いに行きたいと思います！
三人の息子たちも一緒に行かれたら、と思っておりますが.....ご迷惑でないでしょうか。

小栗 献 (B 1986文独)
今年度から関西学院大学で賛美歌学の講義を持つことになりました。
関学と立教の交流なども楽しみにしております。

紅林 東史子(田口) (S 1986文史)
ご盛会、お祈り申し上げます。

内田 幸子 (A 1987文史)
校宅が取り壊されるとのこと。
私の中では、20年前の姿のまま、猿田隊長の笑顔とともに、心の中にしまっておこうと思っています。

窪田 恵理子 (A 1991文基)
ご連絡どうもありがとうございます！ 幹事の方々、大変なのに、いろいろありがとうございます

す。子育てと仕事に忙しく、なかなか出かけられませんが、皆様のご活躍、お祈り申し上げます。

真下 美穂 (A 1991 経営)

先約があり、欠席させていただきます。
近況? 相変わらずです。

汲原 宏枝(石井) (A 1992 経済)

子供の世話やら、風邪やら、送迎やら、習いごとやら、水ぼうそうやら……。1週間単位で時間がビュンビュン過ぎていった1年でした。
立教に足を運ぶのも年に1度、この聖歌隊OB・OG会の機会があればこそ、今年もレベルの高い歌声に包まれる礼拝を楽しみに、伺いたいと思います。

OB・OG会総務の方を、大ボシュウ中です!
現在、2児の子持ちの主婦2人で会報作成のお手伝いをしてしていますが、若い世代の方にも参加して頂きたいので、是非、よろしく願いいたします!!

鍋島 博美(向山) (A 1992 文史)

校宅5号館がなくなるとは……。驚きました。寂しくなります。
ぜひ出席したいところなのですが、丁度その時期に、第一子出産予定です。
遠くからご盛會を祈っています!

飯島 陽子(和田) (S 1993 文仏)

遠方のため、なかなか参加できず、残念です。
盛會となることを、お祈りしています。

阿部 ゆう子(塚田) (A 1998 文基)

実家に帰省予定のため、出席できず申し訳ありません。
5号館の見納めができずに残念です。

古谷 秀子 (A 1998 文基)

いつもご案内ありがとうございます。
校宅5号館が、取り壊されるとのこと、淋しくなりますね。
あいにく仕事のため、出席できませんが、ご盛會をお祈り申し上げます。

加藤 智宏 (B 2000 社社)

今日も仕事が休めず、お伺いできず、誠に残念です。私は変わらず、慈恵医大にて働いております。
今は、主に、研修医のマネジメントをしています。
昨年結婚し、はや1年、仕事にプライベートに、楽しくやっております。
また皆様とお会いできる時を、楽しみにしております。

千野 恵 (S 2001 文教)

思い出深い校宅ですが、ついにこの日が来たか、という思いです。
校宅での日々があったから今の私がある、長い間どうもありがとうと伝えたいです。

三野 穂高 (T 2001 経営)

心の健康のため、あちらこちらに出没しては、歌っています。身体の健康のためにはヨガを始めるなど、つつがなくやっております。

大谷 とも子(加藤) (A 2002 福祉)

ご無沙汰しております。連絡無精で申し訳ありません。
結婚し、先日、一児を出産いたしました。
落ち着きましたら、また出席等考えさせて頂きたいので、連絡先を変更してさせていただきますよう、お願いいたします。

飯塚 幹子 (S 2003 国比法)

校宅5号館とのお別れ、とてもさみしく思っています。しかし、私が現役の時、先輩方の大切にされた校宅5号館で練習をさせていただけたことを、心から深い感謝の気持ちであります。

一戸 祐子 (S 2004 観光)

OB・OG会役員の皆様、どうもありがとうございます。誠に申し訳ありませんが、欠席とさせていただきます。
ご盛會、心よりお祈りいたします。

沖田 直哉 (B 2004 文基)

最近、主教の孫に身柄を拘束され、良くも悪くも、身動きが取れなくなりました。

長谷川 寛子(山崎) (A 2006理化)

お久しぶりです。元奉マネの山崎です。
話には聞いておりましたが、とうとう校宅5号館
が取り壊されてしまうそうで、.....あの場所がな
くなるのは淋しいですね。
当日は時間が合わず行けないのが残念ですが、会
が素敵なものとなりますよう、心よりお祈り申し
上げます。

村上 千尋 (S 2007文仏)

今年の3月に卒業し、4月からそのままフランス
文学研究科へと進学しました。なので気持ちはま
だ現役気分です(笑)。

本会報では、OB・OGの皆様のお伝えしてゆきたい
と考えております。

結婚・出産・転勤・転居など、お差し支えなければ、
OB・OG会事務局までお知らせ下さい。会報に掲載
致します。

特に慶弔事とはかかわりなく近況を伝えるメッセ
ージも良いと思います。
どうぞ奮ってお寄せ下さい。



立教大学諸聖徒礼拝堂聖
歌隊OB・OG会会報

第三号

発行日 / 2006年7月15日

発行元 /

立教大学諸聖徒礼拝堂聖歌隊OB・OG会事務局

〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1

立教大学 6号館6320

スコット・ショウ研究室